進歩する現場環境Ⅲ

平成 24 年 3 月 31 日

全国低層住宅労務安全協議会

◆ 階段開口部の落下防止ネット取付

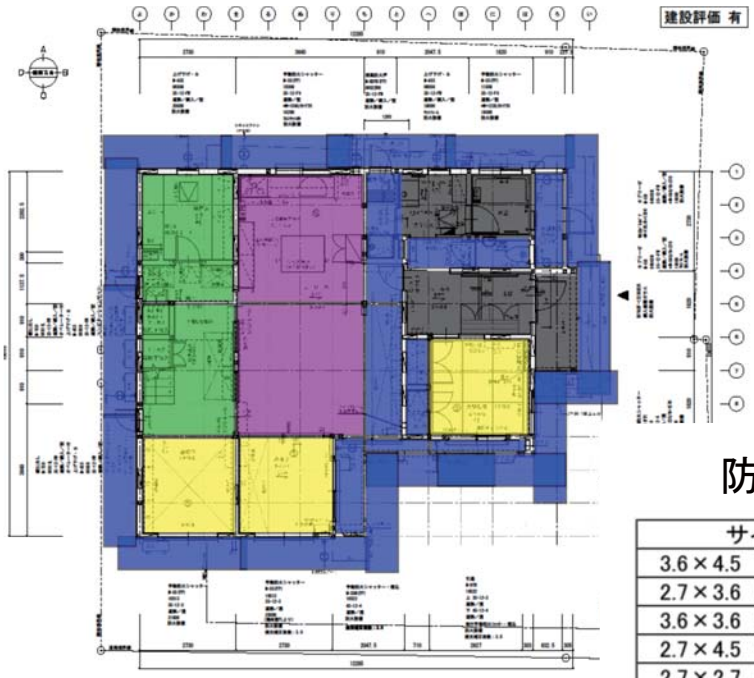
開口部分に落下防止ネットを隙間なく取付をして安全確保。

◆ 階段開口部の全面仮床設置

開口部分に仮床を敷き詰めて安全確保。昇降時は、ハッチ式になることで墜落防止。

昇降時、仮床を全面開放

◆ 図面を基に落下防止ネットの準備



防網ネットの、正確な寸法表

サイズ	色	枚数
3.6×4.5　10帖		枚
2.7×3.6　6帖		2 枚
3.6×3.6　紫		2 枚
2.7×4.5　茶		枚
2.7×2.7　黄		3 枚
1.8×1.8　赤		枚
0.9×3.6　青		7 枚
0.9×1.8　オレンジ		枚
1.8×3.6　黒		3 枚
躯体間ネット 0.9×3.6　青		16 枚
躯体間ネット 予備		2 枚

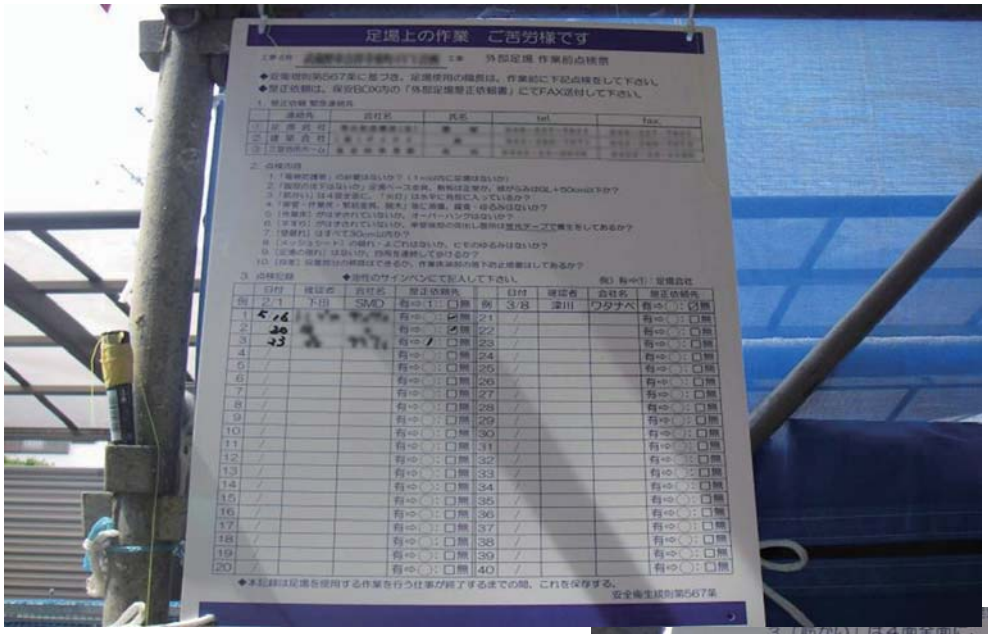
この寸法通りの、防網ネットを、建方作業前に、現場に用意するシステムを採用

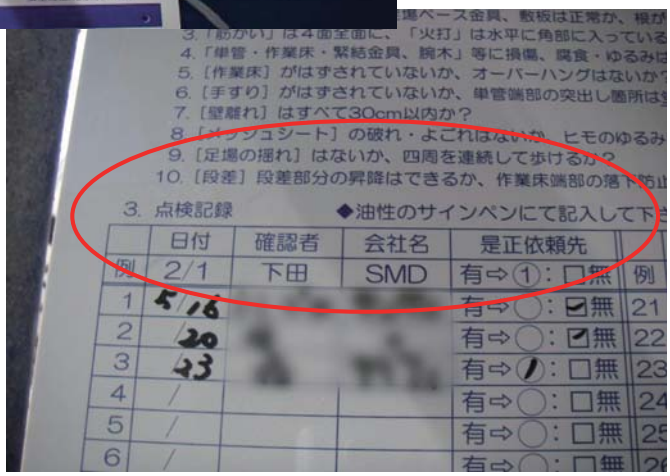
↓

防網ネットが、「足りない」「余ってしまう」という問題点を、事前に解決した。

仮設計画段階で図面より必要な寸法の墜落防止ネットを拾いだし、建方作業前に現場ごとに準備する。
したがって、足りないことや余ってしまうことがない。
また、開口部分に対して隙間なく、たるみのない落下防止ネットを取り付けることができる。

◆ 足場での作業開始前点検表の掲示





掲示する法的義務はないが、掲示することによって、より安全の意識を高める。

◆ 手摺り先行工法

足場作業床を設置する前に、下層より、手摺りを先行し取付ける方式
（手摺、中さん、筋交いの機能を兼用できる。）

上段に位置する
足場職人が、
先行手摺りを
取付けている。

◆ 軒先部分の手摺り先行工法の様子

屋根上に乗らなくても墜転落防止手摺の設置解体ができるので、屋根上の足場作業の軽減が図れる。

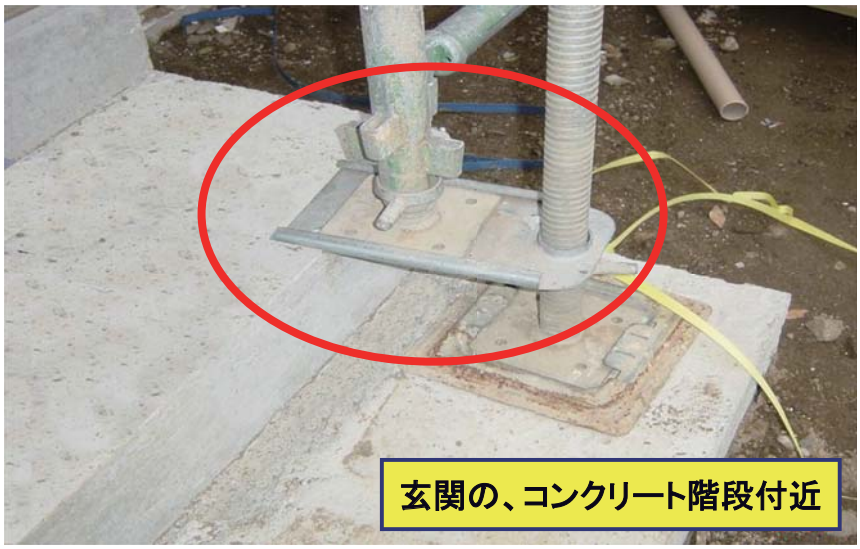
◆ 屋根上のトラブル解決します

・屋根作業をしないので、屋根を汚さない、傷付けない。
・打込み回数が少なくできるので、騒音減。

◆ 軒先墜転落防止措置

屋根付近の掲示物・落下防止ネット

◆ 不安定な敷盤を補強する控え



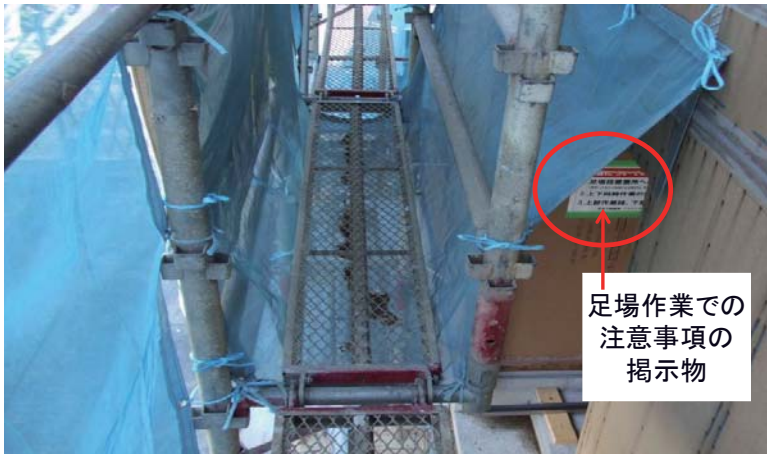
ジャッキベースの半がかりを解消する機材

◆ 足場リフト

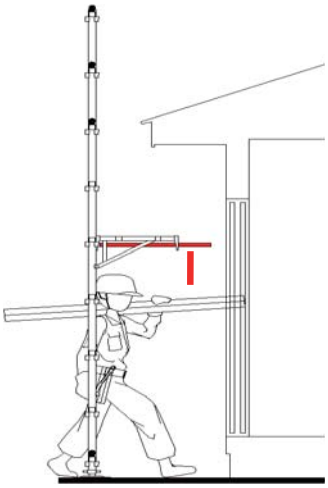
建築資材の上げ下ろしを省力化して安全施工

◆ 物体の落下防止対策

建物の出入り通路となる落下防止については、以下の写真を参照。



養生シートを巻き込むことで物体の落下を防いでいる。



通路上の作業床に巾木を取付けることで、物体の落下を防いでいる。

◆ 立入区域設定

物体の落下防止対策している箇所（対入区域）を
この看板で明確にしている。

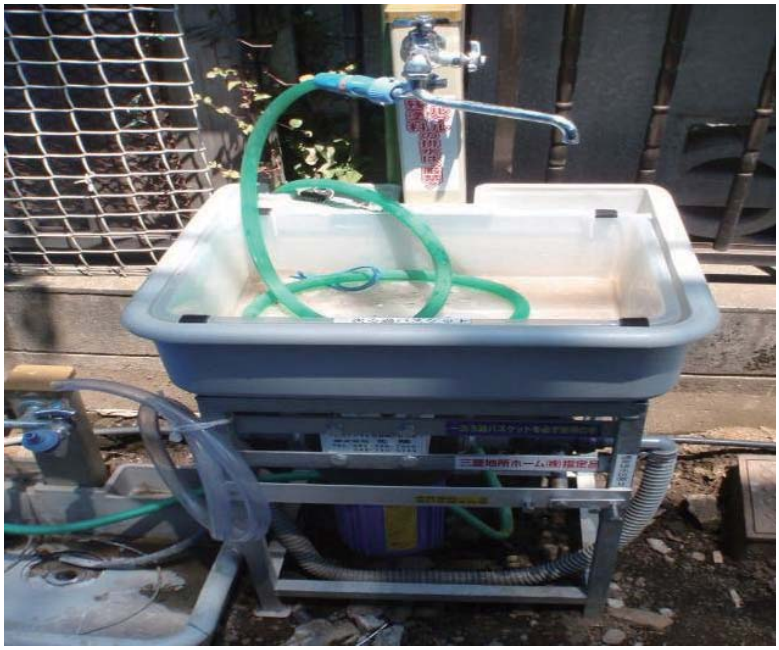
◆ 足場の補強例（頭つなぎ）

同時に親綱を設置することで子綱を使用しての
安全作業が可能。

◆ 仮設トイレ排水フレキシブル配管

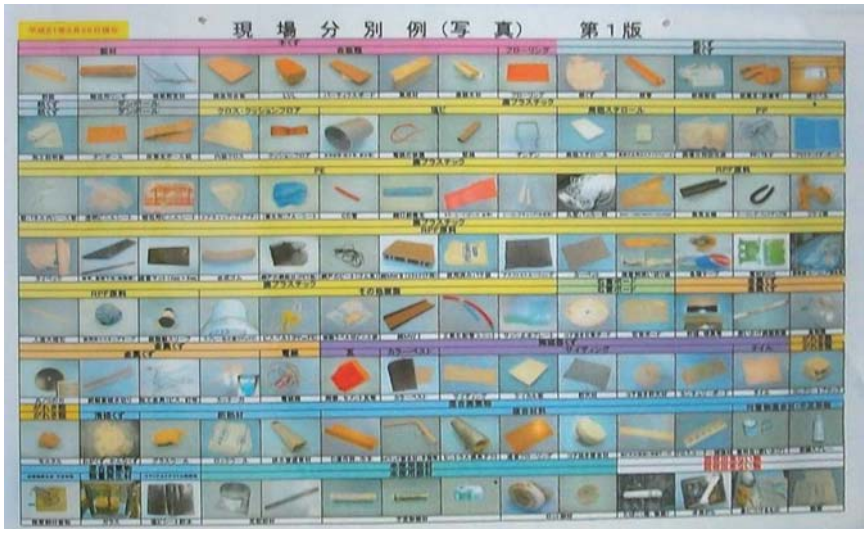
１～２mの範囲であれば、仮設トイレを移動させて使用することができる。

◆ 環境に配慮したエコシンク



現場で使用した塗料、洗い水を化学的に浄化し、きれいな水として排水する。

◆ 産廃の分別対策



現場に、産廃分別の写真が詳細に掲示されている。

◆ 産廃の分別対策

掲示板に従って分別BOXを設置している。

◆ 仮設電気の引き込みについて

仮設電気BOXのふたをしたまま、配線の取り外しが容易にできる。

仮設電気BOXからの引き込み電線は、メッセンジャーを使い地上に這わせない。

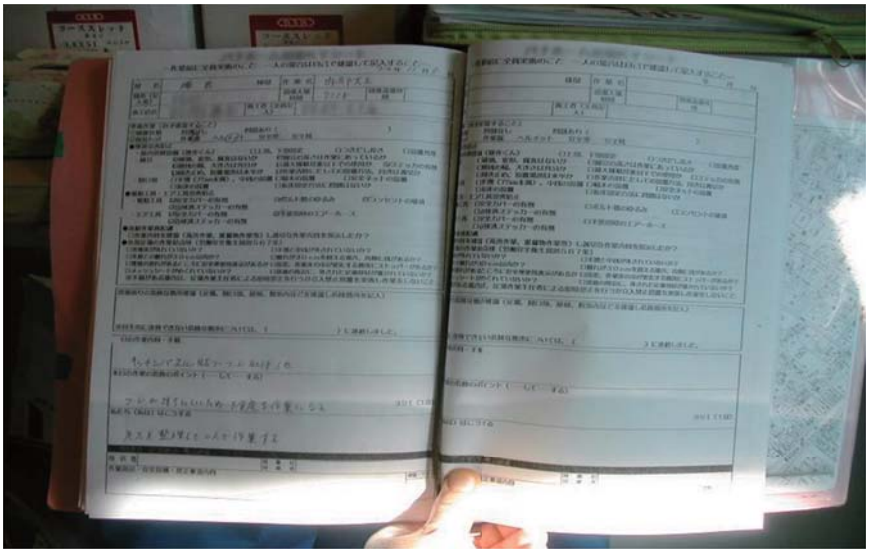
電線を作業床の上を横断させると、つまづきの原因になるので、作業床の下部から建物内部へ取り込む。

電線は床に這わせないで、室内天井をまわすことで躓きの防止、現場の美化を図る。

◆ 注意喚起看板設置例

階段を利用して注意事項を掲示。

◆ 現場に常置された「KYシート」



KYをすることで、危険の芽を見つけ出し、災害を未然に防止することができる。